景　気

大阪府景気観測調査結果

２０１９年７～９月期

大阪産業経済リサーチ＆デザインセンター

 《 詳細は大阪府ホームページに掲載しています。<http://www.pref.osaka.lg.jp/aid/sangyou/keikikansoku.html>　》

　大阪府商工労働部（大阪産業経済リサーチ＆デザインセンター）では、府内企業を対象として四半期毎に、大阪市と協力して景気観測調査を実施しております。2019年７～９月期の調査結果の概要は次のとおりです。

**［景気は、弱い動きの兆しがみられる］**

1. 今期の業況判断ＤＩは全産業で３期連続の悪化となった。来期の業況も全産業で2012年

10～12月期ぶりの低水準となる見通しであることから、景気は弱い動きの兆しがみられる。





景　気

1. 主な項目のＤＩをみると、出荷・売上高ＤＩは弱含みで推移している。製・商品単価ＤＩは８期ぶりのマイナス、原材料価格は業種・規模を問わず下落し、ＤＩは３期連続の下落となった。営業利益判断ＤＩは13期連続のプラス水準、営業利益水準ＤＩは横ばいで推移している。資金繰りＤＩは製造業で上昇したものの全体では低下となった。雇用不足感は緩和が続き、雇用予定人員ＤＩが２期連続マイナスとなるなど、一服感がみられる。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　

※ＤＩは「上昇又は増加等の企業割合(％)」から「下降又は減少等の企業割合(％)」を差し引いたもので、プラスは上昇・増加

・黒字基調・順調等の企業割合が上回り、マイナスは下降・減少・赤字基調・窮屈等の企業割合が上回ったことを示す。

３．2019年10～12月期の業況判断ＤＩは、大企業で前期比上昇も、全体では低下する見通し。

